

財団だより

第145号

2015.9

多摩川

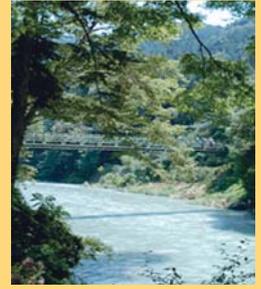


Photo & Text 遠藤穎彦 (Hidehiko Endo) 渋谷区在住

■ 御岳溪谷 ■

Contents 目次

巻頭言	玉川上水分水網を世界遺産・未来遺産へ	2
特別寄稿	多摩川上流へ江戸前鮎を遡上させよう	4
多摩川散歩	多摩川源流大学のご紹介	5
歴史・多摩川	左岸の六郷用水	6
インフォメ/多摩川	7
財団からのお知らせ		
2015年度助成金受領者	10
2016年度助成研究募集のご案内	11

玉川上水分水網を世界遺産・未来遺産へ



準備会代表
当財団選考委員

田畑 貞壽

地域的に広がる玉川上水・分水網の特徴

玉川上水は、多摩水系を源流に江戸時代から現在まで、武蔵野台地とその周辺の地域の水と緑の基軸を形成してきた。さらに台地の尾根筋を通る玉川上水は33にもおよぶ分水を分かち、さらに細かく分かれ水の乏しい台地上に精緻な水のネットワークが巡らされている。このことは、新田・集落を促し、工業用水にも転用され、江戸・東京の生活・産業の発展に大きく寄与してきた。さらに、水路沿いには多様な樹草が形成され、沿川の社寺、庭園、雑木林等への導水により台地上に豊かな水と緑の文化を醸成してきた。またその水は、地下への浸透水を介して崖線や台地の小河川流頭の緑と遊水地の環境を育み、低地河川・水路の養水にもなっている。このようにして、玉川上水・分水網は武蔵野台地全体に広がり「武蔵野」に象徴される固有の自然、歴史文化的景観を創出してきたことに大きな特徴をみることが出来る。

史跡としての玉川上水・分水網の評価

玉川上水・分水網の主な史跡指定の状況を見ると

- 1924年 小金井桜の国史跡名勝天然物指定
- 1944年 野火止用水埼玉県史跡指定
- 1955年 柴崎分水立川市史跡指定
- 1974年 野火止用水歴史環境保全地域指定
- 1986年 野火止用水、千川上水の清流復活事業
- 1998年 宮本橋 四谷大木戸までの開渠部分の歴史環境保全地域指定

2003年 玉川上水開渠区間国の史跡指定

このように、史跡などとしての評価は現時点では幹線及び、個別の分水路ごとの評価に留まり、地域的に広がる玉川上水の評価まで至っていないことが課題となっている。この傾向は、史跡の評価に留まらず生態系保全の観点からも、あるいは

分水や地域ごとの市民の保全活動にも影響をあたえているようにも思える。このことは、玉川上水と分水の維持管理が地域ごとの水利システムによって担われていたという水管理固有の特殊性にも由来し、玉川上水と分水網を地域的な広がりで見ることの難しさに拍車がかかっているのではないだろうか。

地域的に広がる玉川上水と分水網を一体的に再評価することの大切さ

玉川上水・分水網は大規模で多面性を持つ水利システムといえる。武蔵野台地の地形・地質の特徴を最大限に生かし、自然の「位置エネルギー」の優れた技術のみで台地全体を網の目状に覆い、精緻な導水・分水がおこなわれてきた。このために、玉川上水の基軸となる水システムを受け継ぎ発展させることは、新しい東京の持続可能な都市像を模索する時、極めて重要な課題であり、2020年の東京オリンピックには、臨海部の新しい都市開発と武蔵野台地と「水と緑の回廊」の保全の両輪により、新しい東京都市像の形成を促す総合的なプランとして位置付け、具体的な展開を図ることが望まれる。そしてこれを契機に、玉川上水・分水網を重要文化景観地域への指定、さらには世界遺産への登録を目指し、関係する19市15区の特徴を取り上げ、保全活用の方を市民・行政・専門家・関係団体の協働プロジェクトとして、都がリーダーシップをとって推進し2020年東京オリンピック以降の都民、国民をはじめ、世界の人々の景観・環境資産として保全すべきであろう。

また、多くの関係団体グループの皆さんが既に活動を進めていることから、より充実した活動の展開が出来るよう玉川上水・分水網の未来遺産プロジェクトとして推進をすることが期待される。以上のことをふまえて、20150529シンポジウム「玉川上水分水網を世界遺産・未来遺産に一が開催された。

今回は、地域的に広がる文化財の評価、保全活用に詳しい3人の先生方の講演、地元で長年にわたって精力的に玉川上水・分水網の保全、活用に携わってきた市民活動のリーダー2人の報告をいただき、

まとめとしてこれを契機に、玉川上水・分水網の未来遺産への登録、重要文化的景観地域制度の活用、さらに世界遺産への登録に向け、市民・行政・専門家および関係団体の協働プロジェクトとして推進することが大きな目的であった。

2015年5月29日に武蔵野スイングホールで約300人の参加があった。青山侑氏（明大大学院教授・元都副知事）は、玉川上水・分水網を世界遺産にーと題して「水の都江戸東京の水辺再生は、世界の潮流である。玉川上水の連続した水と緑は貴重で、市民が担う総合的に考えるまちづくりをめざし、オリンピックレガシーは「玉川上水・分水網の水と緑の空間」にしよう」世界の都市と水辺整備に触れながら述べられた。

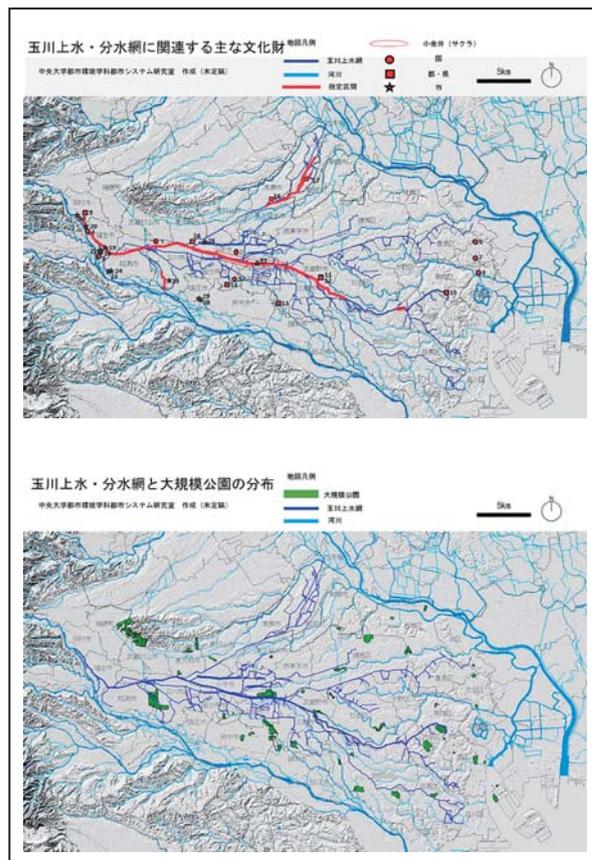
西村幸夫氏（東大大学院教授）は、未来遺産の考え方と玉川上水・分水網と題して「未来遺産とは、次世代につなぐべく活動。歴史、文化、環境資産を保全維持するのは、市民、コミュニティー、基礎自治体の協働プロジェクトである。伝えるべき価値とは何か、どう次世代へ伝えていくかなどを踏まえて100年を目指して活動することが必要とされよう」と多くの事例を挙げ、説明された。

本中眞氏（文化庁世界文化遺産アドバイザー）は、重要文化的景観地域指定と保安全管理と題して「線でなくて分水網を含めた面で、歴史文化基本構想のストーリーづくりを市民、行政が共に行おう。そのためには、上水・分水網沿いの緑や農地地割、住民意識を含めた調査を進め、玉川上水・分水網の文化的景観の保護制度が基礎自治体を中心に実施することが重要である」と先進自治体の例を挙げ説明された。

鈴木利博氏（学び舎江戸・東京ユネスコクラブ）は、玉川上水リレーウォークから未来遺産申請へと題して「玉川上水・上水網は未来の子どもの環境教育の場だ。網の目状に覆う古多摩川の扇状地である武蔵野台地に展開した大規模かつ多面性を持つ水システム、上水＋農・工業＋森・庭園＋生活（消火など）＋生態系保全の挑戦などを実感する。この自然・文化歴史遺産を守り育て次世代に引き継ぐ活動、それが未来遺産の申請目的でもある」として多くの関係地域で活動されているグループの保全活動の推進を中心に、未来遺産への手続きを進めようと提案された。

中里崇亮氏（中里崇亮氏「玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会会長」）は、玉川上水・分水と武蔵野集落・農地と題して「分水は江戸西郊の広大な原野を潤して各村々に入り、水利組合によって管理された。これらの史料についての掘り起しが必要だ。玉川上水や千川など新田が開かれ、農民も元気付けられた。生きた文化遺産・未来遺産の保全活用を総合的なプロジェクトとして具体的に展開することが必要」とされ、関係地域の史談会や関係する研究会に資料づくりが行われている旨の照会と武蔵野市の上水や千川用水の保存運動などについて紹介があった。

おわりに、まとめとして行政、専門家、市民からなる実行委員会を置くことや当面の重要文化的景観地域指定、長期的に世界遺産登録を目指すことなど今後の方針を確認し、それぞれのプロジェクトに沿って進める方向が確認された。



※参考資料：武蔵野台地に刻まれた水と緑の回廊
玉川上水・分水網を世界遺産・未来遺産へ第1回シンポジウム報告書
2015年6月 玉川上水・分水網を世界遺産・未来遺産へ準備会作成

特別寄稿

多摩川上流へ江戸前鮎を遡上させよう



NPO法人奥多摩川友愛会
事務局

須崎 隆

NPO法人奥多摩川友愛会は平成17年に地元の釣り人が中心となって発足しました。(平成18年にNPOに認証されました。)

活動目的

広く一般市民を対象として、良好な河川環境保全のための水生生物や魚種を保護し豊かな多摩川にし、自然と人間が共生できる豊かな社会の実現に寄与することを活動目的としています。活動始めて10年、当初からの活動目的を達成すべく活動しています。多摩川河川環境保全を目的とした事業として、特に以下の活動を毎年行い、子供たちには今ある環境から昔の良好な環境を説明し、保護者には、将来子供たちに良好環境を残す大切さを理解してもらっています。

「主な年間活動」

1. 「がんばれあゆっ子稚アユの放流と多摩川生態系調査」5月第2日曜日
2. 「昔ながらの子供の釣り教室」7月第3日曜日
3. 「親子魚釣り教室」10月最終日曜日
4. 「ヤマメの発眼卵埋設放流」11月第2日曜日(卵の採卵、育成状況による)
5. 付着藻類調査(灰分率)
6. 自然環境教育に関する講師の派遣

「活動紹介」

がんばれあゆっ子

事業年度最初の事業として「がんばれあゆっ子、稚アユの放流と多摩川の生態系調査」を毎年5月第2日曜日に行い、今年で10回目になりました。当初5年は独自に開催していましたが、その後、おうめ水辺の学校の構成団体となって、更に入力して活動しています。青梅市の多摩川釜の淵は、大正2年帝国大学の石川千代松博士が、それまで河川では育た



がんばれあゆっ子

ないとされていた琵琶湖の鮎を放流し、他の鮎と変わりなく河川でも育つことを日本で初めて実証した場所です。(我々の活動拠点です)(若鮎の像記念碑)近年東京湾から多くの



釜の淵若鮎の像

江戸前鮎が多摩川に遡上してきており、それを上流の綺麗な水に泳がし育てて多くの人に見てもらい、豊かな多摩川を満喫してもらうことを願い、毎回奥多摩漁協、青梅市、のご協力のもと小学生の親子100人と稚アユを多摩川に放流しています。本来ならば、江戸前鮎を放流すれば良いのですが、東京都条例で5月31日までは鮎が捕獲できないため、漁協がこの時期放流する稚アユを放流していました。しかし、毎年の活動の成果が、今年より漁協に限り東京都が調査捕獲した江戸前鮎を汲み上げ放流することが出来るようになり、その一部をがんばれあゆっ子で放流させていただきました。おかげさまで、ここ1~2年条件が良い時は東京都島しょセンターの調査採捕にて捕獲し再放流した標識鮎が、青梅市の多摩川で友釣りにて採捕されるようになり、多摩川上流にも少数ですが江戸前鮎が遡上していることが確認されました。今後もこの事業は継続し、多くの人に理解を求め、もっと多くの江戸前鮎をきれいな上流域に生息させるべく活動し、また、都民、市民の皆様にも自然豊かな心のオアシスの多摩川を満喫していただきたいと思います。

NPO法人奥多摩川友愛会ではその他に「主な年間活動」に記載した通り、色々な活動を行っております。「昔ながらの子供の釣り教室」は、今大人の方が夏休みに行っていた「アンマ釣り」を小学生にしてもらい、釣りに



親子魚釣り

より生きている目の前の魚を感じてもらい綺麗な自然の有難さも同時に感じてもらっています。「親子魚釣り教室」では、大きな魚を(大きいものは50cm)仕掛けから参加親子に工夫してもらい、協力して釣り上げてもらい、親子の絆を深めてもらうことを目的としています。子供に出来ないことをお父さんが教える、大いに父親として子供から慕われるきっかけを作る事業です。

まだまだ、沢山の事業を行っている友愛会を知るには、川で起きたことなどを出来るだけ紹介している「奥多摩川友愛会ブログ」をのぞいてみてください。

blogs.yahoo.co.jp/t_yuaikai または、「奥多摩川友愛会ブログ」 [検索](#) です。

多摩川散歩

■ 多摩川源流大学のご紹介 ■



多摩川源流大学事務局
NPO法人多摩源流こすげ事務局
東京農業大学非常勤講師

石坂 真悟

7・8月と、多摩川の源流には今年も多くの子もたちが、源流体験にやって来てくれました。源流体験教室の初めの挨拶の時の子ども達の表情は、固くどこか不安げな表情を浮かべています。しかし、水源の森から流れる澄んだ水を浴びながら、苔むした岩を自らの手で登り、滝を潜り抜けた子ども達は水の冷たさを吹き飛ばすくらい弾ける様な笑顔を見せてくれます。

子ども達を魅了した源流体験は、8月末で一度幕をおろし、これからは大人のための源流体験が開催されます。その名も「秋の源流沢歩き」。子ども達のように、水に飛び込んだり、滝に打たれることはせず、箱メガネと呼ばれる水中を観察する道具でヤマメを観察したり、秋の紅葉している川沿いの森を散策したり、村一番の自然に詳しい達人と共に知的好奇心をくすぐる体験となっています。少人数で、夏の旺盛な緑の森とは違った、落ち着きのある紅葉しはじめた源流の森をゆっくりと歩きながら散策していきます。参加詳細については、東京農業大学エクステンションセンターのHPから多摩川源流大学のイベントをご参照ください。

多摩川源流大学「秋の源流沢歩き」

開催日：平成27年9月25日（金）、10月3日（土）

募集定員：各回とも9名

参加申込み等は「東京農業大学エクステンションセンター」のHPから源流大学のイベントページをご参照ください。



源流大学その他のイベント

多摩川源流大学「猟師と一緒に山歩き」

村内の猟師と一緒に山を歩き、猟師ならではの山の見方、ケモノ道の見つけ方、動物の探し方を学びます。2日目には、うまく獲物が手に入れば解体実演も行います。

開催日：Aクラス 平成27年12月19-20日

Bクラス 平成28年2月6-7日

参加申込み等は「東京農業大学エクステンションセンター」のHPから源流大学のイベントページをご参照ください。



村内のイベント【多摩川源流トレイルラン】

今年で7回目を迎える「多摩源流トレイルラン」。小菅村の森を約500名近いランナーが走り抜けます。途中には小菅村の特産品の一つ「ワサビ」を栽培しているワサビ田や、村内でも指折りの巨樹「大トチ」、富士山を眺めることができる「奈良倉山」など変化に富んだ25kmのコースとなっています。

開催日：平成27年9月13日（土）

もっと源流大学について知りたい

→ genryudaigaku.com

もっと源流体験やNPOの活動を知りたい

→ npokosuge.jp

歴史／多摩川



左岸の六郷用水

NPO 法人多摩川エコミュージアム
監事 長島 保
(地域史研究家)

多摩川下流域の開発は、徳川家康関東入国早々に始まった。それは兩岸一帯にわたり、同時に進められた。総称して四ヶ領用水の開削だ。

右岸では、稲毛・川崎二ヶ領用水といわれたが、左岸では、最下流の領名だけを付した六郷用水とか、六郷領用水の名で呼んだ。とりわけ上流地域では、六郷の名を用いず、用水奉行として開削を差配した小泉次大夫の名をとって、次大夫堀と呼んだ。

この六郷領用水、実際には多摩郡世田谷領から荏原郡六郷領の二ヶ領を疏通したのだが、当初は下流の六郷領一帯に広がる平地に疏水するのが主眼だった。

上流域の世田谷領内については、和泉村（狛江市）取水口付近では野川の旧河道を取り込んだりしたが、やがて武蔵野



狛江市が建てた六郷用水取水口跡碑

台地が張り出してくるので。幹線水路は国分寺崖線の山裾にそって世田谷領 10 カ村を流れくだった。

六郷領（大田区）に入ると、嶺、鶺木村を経て矢口村の南北引分けで南堀と北堀に分流した。南堀は矢口、六郷、羽田の村々に流れ、北堀は池上、蒲田、糺谷村へ、さらに大森、新井宿方面に下り、末流は羽田村や不入斗村で江戸海に注いだ。

幹線水路の全長は 20 数キロメートルに及び、堀幅は世田谷領で三間三尺（4.5 メートル）、六郷領では南堀が八尺（2.4 メートル）、北堀が七尺（2.1 メートル）の堀幅になった。

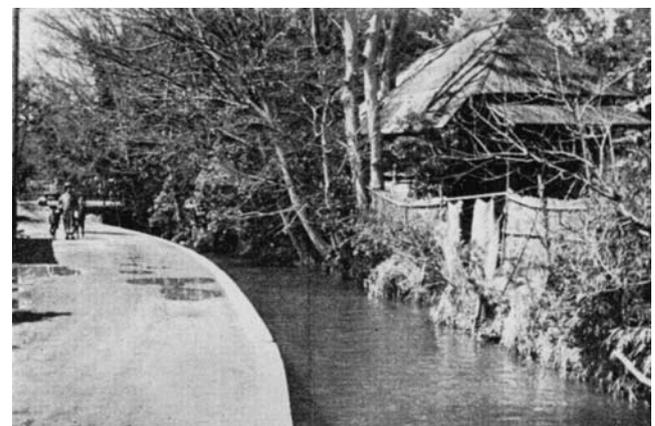


六郷用水の取り入れ口＝昭和初期・多摩郡和泉村（狛江市）
(小倉紀夫著「水のこころを誰に語らん」から)

これら水路の灌漑面積は、世田谷領 14 カ村で 500 町歩、六郷領 36 カ村で 1,000 町歩に及んだという。ちなみに対岸二ヶ領用水の総灌漑面積は、60 カ村（稲毛領 37 カ村・川崎領 23 村）で 2,000 町歩に達した。

ところで、四ヶ領用水の開削状況を伝える史料に「新用水堀定之事さだめのこと」がある。百数十年後の記録だが、用水奉行の小泉次大夫が、地域農民の協力を得て、十数年の歳月をかけて竣工したようすが記されている。見立て（測量工事）に二年弱、本流開削工事に十年余、分水小堀工事に一年余を費やした。1597（慶長 2）年に着工して、1611（慶長 16）年 3 月に竣工した。

この間、二ヶ領用水での分水小堀工事には、時間を費やしたが、世田谷領内では実施された形跡がなく、当初から利用した野川、仙川、谷戸川などの流入河川とのかかわりが大きかったようだ。また長いこと、六郷領用水組合には入らず、むしろ用水争論をひきおこした。このあたりの事情については、次に続けて記したい。



昭和初期の次大夫堀＝荏原郡等々力村（世田谷区）付近
(世田谷区教育委員会「小泉次大夫史料」から)

インフォメ 多摩川

多摩川流域の各種団体等の9月から12月頃まで行われる環境活動に関する主な行事・イベント情報を紹介いたします。

☆ 美しい多摩川フォーラム

1. 第2回美しい多摩川フォト教室(9月18日:国営昭和記念公園内)
2. 多摩川“水”大学講座(9月18日:八王子市あったかホール2F会議室)
3. 第8回たまりパー50キロ命名記念・RUN&WALK(10月4日:大田区~羽村市)
4. 多摩川“水”大学講座(10月16日:八王子市あったかホール2F会議室)
5. 美しい多摩川クリーンキャンペーン(11月7日:多摩市(一ノ宮公園) 11月14日:青梅市(御岳)ほか)
6. 多摩川“水”大学講座(11月20日:八王子市あったかホール2F会議室)
7. 第7回多摩川子ども環境シンポジウムを開催(12月5日:昭島市フォレスト・イン昭和館)

問合せ先

美しい多摩川フォーラム事務局(青梅信用金庫 地域貢献部内)

担当:宮坂/土方/及川

TEL:0428-24-5632 FAX:0428-24-4650

E-mail:forum@tama-river.jp URL:http://tama-river.jp

☆ みずとみどり研究会

第3回まるごと多摩川まつり・第44回多摩川流域セミナー 開催のお知らせ

日時 2015年9月19日(土)(荒天の場合は翌20日に延期)

午前『多摩川を歩く』9時30分~12時(事前申込)

歴史・自然・治水、いろいろな角度から多摩川河口の見どころを歩いて回ります。

午後『多摩川流域セミナー』13時~16時

多摩川のアユをテーマに、安住三郎氏(川崎河川漁業協働組合代表理事組合長)からのご講演をはじめ、多摩川に関する話題提供と意見交換会を行います。

午後『いい川づくり交流ひろば』12時~16時(干潟観察会のみ事前申込)

・干潟観察会 ・降雨体験車 ・おさかなえびかにふれあいコーナー ・ストーンベインティング ・多摩川検定 ・炊き出し訓練 ・多摩川と相模川のアユの食べ比べ など

場所 午前『多摩川を歩く』

下河原公園集合(京浜急行大師線「小島新田駅」から徒歩15分または川崎駅よりバス利用)

午後『多摩川流域セミナー』・『いい川づくり交流ひろば』

大師河原水防センター(大師河原干潟館)(京浜急行大師線「東門前駅」から徒歩6分)

参加費 『多摩川を歩く』50円・干潟観察会100円(どちらも保険代)

その他イベント参加、アユ食べ比べなどは無料

詳細 京浜河川事務所ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00123.html>

主催 多摩川流域懇談会(市民(団体)・多摩川流域3自治体・河川管理者など)

共催 多摩川流域協議会(多摩川流域の1都2県30市区町村と国土交通省)

協力 NPO法人多摩川干潟ネットワーク

お申込・お問合せ先:多摩川流域懇談会事務局 みずとみどり研究会

連絡先 TEL/FAX 042-327-3169 E-mail:mizutomidoriken@ybb.ne.jp

☆ むさしの化石塾

2015年7月25日(土) 昭島市拝島町多摩川河床水道橋付近 化石採集会
8月23日(土) 昭島市拝島町多摩川河床水道橋付近 化石採集会
9月12日(土) 昭島市拝島町多摩川河床水道橋付近 化石採集会
10月24日(土) 昭島市拝島町多摩川河床水道橋付近 化石採集会
11月14日(土) 昭島市拝島町多摩川河床水道橋付近 化石採集会

調べ学習会場は以下の通りです。

場 所：〒208-8503 武蔵村山市学園4-5-1 武蔵村山市民総合センター内2階作業室 電話042-590-1430

最 寄：市内循環バス 武蔵村山市民総合センター前下車 バス停下車徒歩1分

野外・室内共に参加費：1000円(資料代、レク保険別途)当日徴収致します。

都度5名定員締め切り 要・事前申し込み

連絡先：mailto:geo@extra.ocn.ne.jp geo@extra.ocn.ne.jp

上記日程の参加申し込み、入塾希望者は

申し込み方法は、下記のメアドから、メールにて住所・氏名・学年など、連絡先を明記の上、送信下さい。

最新日程は「むさしの化石塾ブログ」でご確認ください。

GeoWonder 企画 むさしの化石塾

〒208-0003 東京都武蔵村山市中央3-20-7 MKJ事務所

むさしの化石館 042-567-1095 (FAX)

むさしの化石塾 代表 福嶋 徹

Mail: geo@extra.ocn.ne.jp URL: http://fossils.blog.ocn.ne.jp/

☆ 一般財団法人 世田谷トラストまちづくり

「身近な自然と触れ合うミニイベント」【要申込】

ちびっことご家族の ちいさな自然あそび～秋

日時 / 10月24日(土) 午後1時～3時

はじめてのつるでかご編み

日時 / 11月28日(土) 午後1時～3時30分

お正月を楽しむ竹細工

日時 / 12月19日(土) 午後1時30分～3時30分

とも

場所 / 世田谷トラストまちづくりビジターセンター [世田谷区成城4-29-1 (野川沿い)]

参加費 / 一般：大人300円、小人200円、未就学児100円 会員：大人200円、小人100円、未就学児50円

定員 / 幼児とご家族 先着20名

大人向け(中学生以上)プログラムですがお子さんの同伴可。先着15名

どなたでも 先着20名

小学3年生以下保護者同伴。小学4年生以上は、子どものみでも参加可。

(その場合は保護者の許可を必ずとってください)

申込受付 / 9月17日(木)より受付開始

【申込み・問合せ先】(一財)世田谷トラストまちづくり・ビジターセンター

TEL03-3789-6111 FAX03-3789-6114

☆ 多摩川大学ふれあい移動水族館

10月3日	土	多摩川ジュニアガイド 多摩川自然観察会	川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中	実費1人千円	多摩川に仕掛けてある調査用の定置網網揚げ体験。胴長、ライフジャケット持参。有料レンタルあり、申し込み時にお知らせください。*外来種の持ち帰りはできません。
10月4日	日	おさかなポスト 見学学習会	川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中	実費1人千円	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。
10月10日	土	川崎みなと祭り おさかなポスト里親探し	川崎マリエン 川崎市川崎区東扇島38-1	10時~16時	直接会場へ	インターン生・ボランティア募集中		
10月10日	日	川崎みなと祭り おさかなポスト里親探し	川崎マリエン 川崎市川崎区東扇島38-1	10時~16時	直接会場へ	インターン生・ボランティア募集中		
10月12日	月	おさかなポスト 見学学習会	川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中	実費1人千円	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。
10月15日	木	世田谷区小学校講演会	世田谷区		申込制	一般公聴有り		詳細はお問い合わせ下さい
10月17日	土	エネオス子ども祭り 多摩川ふれあい水族館	川崎区		申込制	インターン生・ボランティア募集中		詳細はお問い合わせ下さい
10月17日	土	多摩区民祭 多摩川ふれあい移動水族館	多摩区生田緑地	10時~15時	直接会場へ	インターン生・ボランティア募集中		
10月18日	日	おさかなポスト 見学学習会	川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中	実費1人千円	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。
10月20日	火	八王子市保育園 多摩川ふれあい水族館	八王子市		申込制	インターン生・ボランティア募集中		詳細はお問い合わせ下さい
10月24日	土	川崎市立登戸小学校 フェスティバル 多摩川ふれあい水族館	多摩区		申込制	インターン生・ボランティア募集中		詳細はお問い合わせ下さい
10月25日	日	下野モフェスティバル 多摩川ふれあい水族館	高津区		直接会場へ	インターン生・ボランティア募集中		詳細はお問い合わせ下さい
10月31日	土	おさかなポスト 見学学習会	川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中	実費1人千円	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。
11月1日	日	川崎市民祭 多摩川ふれあい水族館	川崎区富士見公園	10時~16時	直接会場へ	インターン生・ボランティア募集中		
11月2日	月	川崎市民祭 多摩川ふれあい水族館	川崎区富士見公園	10時~16時	直接会場へ	インターン生・ボランティア募集中		
11月3日	火	川崎市民祭 多摩川ふれあい水族館	川崎区富士見公園	10時~16時	直接会場へ	インターン生・ボランティア募集中		
11月7日	土	柏市小学校講演会	柏市		申込制	一般公聴有り		詳細はお問い合わせ下さい
11月7日	土	千葉市幼稚園 多摩川ふれあい水族館	習志野市		申込制	インターン生・ボランティア募集中		詳細はお問い合わせ下さい
11月8日	日	多摩川アユの産卵場観察会	世田谷区二子多摩川付近	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中		詳細はお問い合わせ下さい
11月10日	火	相模原市 多摩川ふれあい水族館	相模原市		申込制	インターン生・ボランティア募集中		詳細はお問い合わせ下さい
11月13日	金	福島県会津若松市子ども交流会講演会	会津若松市		直接会場へ	インターン生・ボランティア募集中		詳細はお問い合わせ下さい
11月14日	土	多摩川ジュニアガイド 多摩川自然観察会	川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中	実費1人千円	多摩川に仕掛けてある調査用の定置網網揚げ体験。胴長、ライフジャケット持参。有料レンタルあり、申し込み時にお知らせください。*外来種の持ち帰りはできません。
11月15日	日	おさかなポスト 見学学習会	川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中	実費1人千円	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。
11月20日	金	世田谷区幼稚園 多摩川ふれあい移動水族館	世田谷区		申込制	インターン生・ボランティア募集中		詳細はお問い合わせ下さい
11月21日	土	多摩川ジュニアガイド 多摩川自然観察会	川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中	実費1人千円	多摩川に仕掛けてある調査用の定置網網揚げ体験。胴長、ライフジャケット持参。有料レンタルあり、申し込み時にお知らせください。*外来種の持ち帰りはできません。
11月23日	日	おさかなポスト 見学学習会	川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中	実費1人千円	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。
11月28日	土	多摩川ジュニアガイド 多摩川自然観察会	川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中	実費1人千円	多摩川に仕掛けてある調査用の定置網網揚げ体験。胴長、ライフジャケット持参。有料レンタルあり、申し込み時にお知らせください。*外来種の持ち帰りはできません。
11月29日	日	おさかなポスト 見学学習会	川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中	実費1人千円	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。
12月5日	土	第8回・多摩川子ども環境シンポジウム	昭島市拝島町 フォレストイン昭和館	14時~16時	直接会場へ	インターン生・ボランティア募集中		
12月6日	日	おさかなポスト 見学学習会	川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中	実費1人千円	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。
12月12日	土	多摩川ジュニアガイド 多摩川自然観察会	川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中	実費1人千円	多摩川に仕掛けてある調査用の定置網網揚げ体験。胴長、ライフジャケット持参。有料レンタルあり、申し込み時にお知らせください。*外来種の持ち帰りはできません。
12月13日	日	おさかなポスト 見学学習会	川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中	実費1人千円	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。
12月18日	金	青山学院女子短期大学 講義	渋谷区	10時~12時	申込制	一般公聴有り		詳細はお問い合わせ下さい
12月19日	土	多摩川ジュニアガイド 多摩川自然観察会	川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中	実費1人千円	多摩川に仕掛けてある調査用の定置網網揚げ体験。胴長、ライフジャケット持参。有料レンタルあり、申し込み時にお知らせください。*外来種の持ち帰りはできません。
12月20日	日	おさかなポスト 見学学習会	川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中	実費1人千円	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。
12月25日	金	高津区子供文化センター 多摩川ふれあい水族館	高津区	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中		詳細はお問い合わせ下さい
12月26日	土	多摩川ジュニアガイド 多摩川自然観察会	川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中	実費1人千円	多摩川に仕掛けてある調査用の定置網網揚げ体験。胴長、ライフジャケット持参。有料レンタルあり、申し込み時にお知らせください。*外来種の持ち帰りはできません。
12月27日	日	おさかなポスト 見学学習会	川崎市立稲田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	14時~16時	申込制	インターン生・ボランティア募集中	実費1人千円	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。
12月31日	木	多摩川年越しカウントダウン	23時多摩川ゼロキロメートル集合	23時40分~翌0時20分	申込制			

* ふれあい移動水族館・おさかなポストの会 代表 山崎充哲

メールアドレス RiverRanger777@gmail.com

TEL : 090 - 3209 - 1390

■平成27年度 研究助成金 受領者一覧■

1 新規 学術研究

(単位：円)

	研究課題	代表研究者	所属	研究期間	2015年度 助成金額
1	多摩川流域におけるダニの生息分布調査およびダニ媒介性人獣共通感染症調査	堀田こずえ	東京大学大学院農学生命科学研究科 獣医学専攻 獣医公衆衛生学教室 助教	2年	1,425,000
2	多摩川集水域における底質中の放射能セシウムの30年後を見据えた挙動解析	小池 裕也	明治大学理工学部 専任講師	2年	1,869,550
3	多摩川上流域に生息するニホンジカの遺伝構造・遺伝的多様性の評価	溝口 康	明治大学農学部 准教授	2年	2,000,000
4	近代多摩川と皇室 - 鮎献上と多摩地域の聖蹟化に関する歴史学的研究	吉岡 拓	恵泉女学園大学人文学部 特任助教	2年	656,184
5	多摩川下流低地における地下水環境と地盤変動の変遷	愛知 正温	東京大学大学院新領域創成科学研究科 講師	2年	1,500,000
6	多摩川中流部における樹林伐根跡地の植生変化と立地との関係	和田美貴代	東京大学理学系研究科 特任研究員	2年	681,982
7	多摩川上流域の生態系を育む河床藻類を支える窒素固定細菌の多様性と役割	春田 伸	首都大学東京理工学研究科 准教授	2年	2,000,000
合 計 (7件)					10,132,716

2 新規 一般研究

(単位：円)

	研究課題	代表研究者	所属	研究期間	2015年度 助成金額
1	多摩川中流域並びにその支流域における放射能の土壤汚染と生体に対する影響について	清宮 祥子	特定非営利活動法人 R.I.La 理事長	2年	495,800
2	埼玉県での多摩川の水利利用 - 野火止用水 -	小坂 克信	産業考古学会理事、水車と臼分科会代表	1年	496,000
3	御岳山地域ニホンジカ生息調査 - 絶滅危惧種レンゲショウマの群生地を守るために -	田畑 伊織	かもしかの会 代表	2年	842,000
4	多摩川流域山地の伐採跡地を利用する鳥類に関する研究	山口 孝	多摩クマタカ生態調査チーム 代表	2年	320,300
5	玉川上水・分水網の構成と関連遺構に関する調査	辻野五郎丸	玉川上水域研究会 代表	1年	1,000,000
合 計 (5件)					3,154,100

3 継続 学術研究

(単位：円)

	研究課題	代表研究者	所属	研究期間	2015年度 助成金額
1	多摩川上流における風穴の現状およびその自然条件と温度観測	清水 長正	駒澤大学文学部地理学科 非常勤講師	2年	780,190
2	河川環境の特性を活かしたカワラノギクと礫河原生態系の再生手法の開発	倉本 宣	明治大学農学部 教授	2年	1,497,190
3	溶存N ₂ /A _r 測定による多摩川における脱窒の推定	木庭 啓介	東京農工大学農学部環境資源科学科 准教授	2年	2,000,000
4	多摩川中流域に分布する上総層群の残された問題の解決、総括的研究と地質野外実習教材の改訂	松川 正樹	東京学芸大学環境科学分野 教授	2年	991,604
5	多摩川流域における放射性物質による影響の推移に係る調査研究と水環境・放射線を共に学ぶ教室の展開	吉田 政高	NPO千葉健康づくり研究ネットワーク 理事	2年	1,994,000
6	多摩川流域の森林丘陵地におけるPM _{2.5} の沈着量の評価	松田 和秀	東京農工大学農学部 准教授	2年	1,800,000
合 計 (6件)					9,062,984

4 継続 一般研究

(単位：円)

	研究課題	代表研究者	所属	研究期間	2015年度 助成金額
1	「多摩の物語」(民話・昔話)の掘り起し調査と「語り」の実演	平野 啓子	美しい多摩川フォーラム 副会長	2年	228,000
合 計 (1件)					228,000
総 合 計 (19件)					22,577,800

財団からのお知らせ — 助成研究募集のご案内 —

多摩川およびその流域の環境浄化に関する 基礎研究、応用研究、環境改善計画のための研究・活動助成の募集

公益財団法人とうきゅう環境財団（理事長 西本定保）は、1975年（昭和50年）より、多摩川およびその流域の環境浄化の促進や自然環境の保全などに必要な調査や試験研究を毎年公募してきています。その結果、これ迄に1,188件（新規・継続—学術研究744件、一般研究444件、14億4百万円）の調査・試験研究のお手伝いをさせて頂きました。2016年（平成28年）4月からの助成についても、従来と同様、意欲的な調査や試験研究を募集致します。

1. 応募資格者

下記研究対象テーマに掲げた調査や試験研究に意欲のある方であれば、どなたでもご応募いただけます。

2. 助成研究対象テーマ

産業活動または住生活と多摩川およびその流域との関係に関する調査および試験研究
排水・廃棄物等による多摩川の汚染の防除に関する調査および試験研究
多摩川およびその流域における水の利用に関する調査および試験研究
シンポジウム、音楽会あるいは出版等による環境啓発活動や、歴史的な遺産あるいは社会システムの維持保全・回復運動等、多摩川及びその流域における環境保全や文化の創造に広く寄与するもの。

3. 応募方法

当財団所定の申請書に必要事項を記入、捺印の上、財団宛ご提出下さい。

「募集要項」「申請書」はホームページ上からダウンロードして下さい。

<http://www.tokyuenv.or.jp/invite>

4. 助成の決定

2016（平成28年）年3月に開催予定の当財団選考委員会で選考のうえ、理事会に諮って最終的に決定致します。

5. 応募締切日 2016（平成28年）年1月15日（金）消印有効

6. 応募にあたっての注意事項

ご応募にあたっては当財団の定める「調査・試験研究助成に関する調査・試験研究の選定基準、助成の方法、調査・試験研究の実施方法、助成金の支払い方法ならびに調査・試験研究者の個人情報保護の方法に関する規程」を必ずお読み下さい。

過年度に不採用となった調査や研究の再応募は受付けておりませんので、同一の調査・試験研究課題で再応募される場合は、前回のものと調査や試験研究の内容のちがいがよく判るよう工夫して、申請書をご作成下さい。

（次ページへ続く）

7. 助成研究の種別と諸条件

研究の種別	学術研究	一般研究
研究の区別	環境問題改善のための調査や試験研究で、専門性が高く、その分野の学識経験を必要とするもの。 (財団のホームページで過去の研究事例をご参照下さい)	環境問題改善のための調査や試験研究で、一般の市民が、特別な学識経験を必要とせず取り組めるもの。
1件当たりの助成金総額の上限額	400万円	100万円
単年度の助成金上限額	200万円	100万円
研究期間	最長2ヶ年	最長2ヶ年
助成対象費目	直接研究に使用する器具備品で一個、又は一式10万円以上の固定資産。 調査や試験研究に用いる各種材料、部品、薬品等。 調査や試験研究のための交通費、宿泊費等。 調査や試験研究のために臨時に雇った人の謝金等。 器機・設備などの賃借料、通信費、その他。	
尚、一般研究については、従来からの調査・試験研究に加えて、シンポジウム、音楽会あるいは出版等による環境啓発活動や、歴史的な遺産あるいは社会システムの維持保全・回復運動等、多摩川およびその流域における環境保全や文化の創造に広く寄与すると思われるものも選考の対象といたしましたので、奮ってご応募下さい。		

▶ 当財団の概要

設立 2010年10月1日
 主務官庁 内閣府
 基本財産 978百万円
 財源 基本財産等の運用収入並びに寄付金
 事業内容 研究助成事業
 1 研究助成 総助成件数 1,188件
 (学術744件、一般444件)
 総助成金額 1,404百万円
 2 学習支援 副読本制作配布 290千部
 印刷刊行物 研究助成成果報告書学術編
 研究助成成果報告書一般編
 環境副読本(毎年)7,000部

- 中村 良夫 東京工業大学 名誉教授
- 三木 千壽 東京都市大学 学長
- 涌井 史郎 東京都市大学 教授
- [常務理事] 小野木 喜博 当財団 事務局長
- [監事] 岩田 哲夫 東京急行電鉄株式会社 常勤監査役
- [評議員] 井原 國芳 東京急行電鉄株式会社 顧問
- 海老原 大樹 東京都市大学 名誉教授
- 越村 敏昭 東京急行電鉄株式会社 取締役相談役
- 佐々木 謙二 横浜商工会議所 会頭
- 鈴木 學 株式会社 日立製作所 技監
- 高橋 裕 東京大学 名誉教授 / 選考委員長
- 鳥井 信吾 サントリーホールディング株式会社 取締役副会長
- 水田 寛和 株式会社 東急百貨店 顧問
- 山口 裕啓 学校法人 五島育英会 理事
- 山田 長満 川崎商工会議所 会頭
- 横溝 英樹 株式会社 東芝 関東支社長(兼) 総合営業部長
- [選考委員]◎高橋 裕 東京大学 名誉教授
- (◎は委員長) 奥山 文弥 東京海洋大学 客員教授
- 小堀 洋美 東京都市大学 教授
- 小宮 輝之 上野動物園 元園長
- 斎藤 潮 東京工業大学大学院 教授
- 新藤 静夫 千葉大学 名誉教授
- 鈴木 信夫 昭和女子大学 客員教授
- 田畑 貞寿 (公財) 日本自然保護協会 顧問
- 土屋 十圀 前橋工科大学 名誉教授
- 寺西 俊一 一橋大学大学院 教授

▶ 役員・評議員

(敬称略50音順)

- [理事長] 西本 定保 東京急行電鉄株式会社 顧問
- [理事] 池島 政広 亜細亜大学 学長
- 石渡 恒夫 京浜急行電鉄株式会社 取締役会長
- 大須賀 頼彦 小田急電鉄株式会社 取締役会長
- 加藤 勉 京王電鉄株式会社 取締役相談役
- 金指 潔 東急不動産ホールディングス株式会社 取締役会長
- 小長 啓一 東京急行電鉄株式会社 取締役
- 小沼 通二 東京都市大学 名誉教授

発行 平成27年9月
編集兼発行 公益財団法人とうきゅう環境財団
 〒150-0002 渋谷区渋谷1-16-14
(渋谷地下鉄ビル5F)
 TEL (03)3400-9142
 FAX (03)3400-9141
ホームページ <http://www.tokyuenv.or.jp/>

